

# (福)平成会

## 関市・高齢者介護障がい者支援

平成27年度  
認定

特別養護老人ホームと障がい者支援施設を運営し、8割を占める女性職員の1/4が育児を経験。業務を完全可視化するシフト表の作成で、希望のシフト勤務実現や業務効率化を図り、離職率低下に努める。

従業員数／男性50名 女性124名 計174名 ※平成27年4月現在

# 業務改善で無理なく仕事両立

平成会では、子育て中の職員が子どもの発熱などで急に欠員しても、円滑に対応できるような、2008年から業務改善に取り組み始めた。一日の業務内容を書き出し、完全可視化するシフト表を作成したところ、曖昧な人員配置



部署ごとに2年かけて作成・定着したシフト表。各職員の仕事内容を時系列で把握でき、互いを補完しやすい。

や時間配分が解消。1人1人の責任が明確化し、希望のシフト調整も可能に。結果、60%以上と高水準の年休取得率や、所定外労働時間も月3時間程度と低水準を維持し、離職率の大幅な低下に至った。「シフト表でやるべき仕事時間が明確で確認できるため、相互協力もしやすくなった」と話すのは、山田あつ子副施設長。障がい者支援施設で働く神山恵子さんも「育児復帰後、6時間の時短で働いているが、周りの協力は非常に大きい。妊娠時やすぐ体に負担のある業務から外してくれするなど、配慮してもらった」と、アットホームな職場の雰囲気を伝える。

また不妊治療を希望した職員には無期限で夜勤を免除するなど、その時々抱える悩みや事情にも臨機応変に対応。2015年から、土日祝や長期休暇中の子連れ出勤も受け入れている。「以前から夜の研修時に子ども連れを認めるなど、互いに子育てを支援する人間関係が築かれている」と話す岩島琴美施設長は、職員1人1人に合った働き方を一緒に見つけ、無理なく働き続けられる職場づくりに尽力したいと述べた。



機能訓練士として働く奥田裕子さんは、夏休みになると小学4年の娘と一緒に出勤。「多くのお年寄りや接し、洗濯を手伝うなどいい経験をさせてもらってる」と話す。